



## CERD 取り組み・活動内容



### 研究

#### 「いのちを守る」都市防災研究

日常生活の中で防災・減災について考えておくことが災害時にいのちを守ることにつながります。そのために必要な知識と技術に関連する「災害リスク」と「災害時対応」、それらを活かして効果的に地域の防災力を向上させる「社会実装マネジメント」を3つの柱として研究を行っています。また、サイエンスカフェ(防災座談会)や都市防災研究シンポジウムを定期的に開催し、大学・地域・行政が、多様な視点から防災に関する知見を共有する場を設けています。



### 教育

#### 理論と実践を組み合わせた アクティブラーニング型防災教育

本学の学生には、防災士養成講座を兼ねた共通教育科目「コミュニティ防災」などの防災関連科目を提供しています。学外の市民向けには、コミュニティ防災教室の開催や、より多くの人に防災について学んでいただけるようeラーニングのコンテンツも準備しています。独自のARアプリを用いた災害対応訓練も実施し、理論と実践を通して主体的に防災について学べるプログラムの開発と実践を行っています。



### 地域貢献

#### 最新の研究成果を コミュニティ防災力の向上に活かす

各研究ユニットで明らかにされた災害・防災に関する知見を、地域の防災活動に役立てることができるよう、さまざまな方法で地域貢献活動を行っています。毎年開催している「コミュニティ防災フォーラム」では、CERDの活動報告をはじめ、地域住民や学生の防災に関する取り組みの成果発表なども行っています。研究員が講師となって、大学の公開講座での「防災講座」、小中学校などへの出前授業、各所での講演も実施しています。

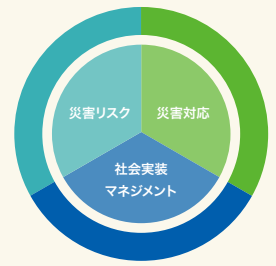


# CERD Members

大阪市立大学 都市防災教育研究センター メンバー (50音順)

所長 三田村 宗樹

副所長 重松 孝昌(都市防災研究担当) / 佐伯 大輔(コミュニティ防災教育担当) / 生田 英輔(地域貢献担当)



## 【ユニットI】

### 災害リスク

リーダー 吉田 長裕 YOSHIDA Nagahiro

工学研究科・准教授  
都市基盤計画学・博士(工学)



特に移動困難者を対象に、交通工学や交通計画に関わる安全、環境、健康問題を扱っています。防災関連では、災害前後の現地活動におけるシフトインセンティブを向上するために、分野横断的かつ多次元的アプローチの導入を試みています。移動困難者、歩行者・自転車交通、クロスセクターアプローチ

遠藤 徹 ENDO Toru

工学研究科・准教授  
水圏環境工学・博士(工学)



都市沿岸域における水圏環境の動態解析を行っています。都市防災プロジェクトでは、洪水や津波などの攪乱現象が水圏環境や生態系機能に及ぼす影響について評価します。大和川、出水、環境影響評価、生態系機能

大島 昭彦 OSHIMA Akihiko

工学研究科・教授  
地盤工学・博士(工学)



土の圧密・締固め・強度、地盤情報データベースに基づく250mメッシュ地盤モデル、地下水位低下による沈下予測と液状化対策、地震時揺れやすさマップの作成、戸建住宅の液状化判定のための地盤調査法の開発。液状化、沈下予測、地下水、地盤情報データベース、地盤調査

貫上 佳則 KANJO Yoshinori

工学研究科・教授  
水処理工学・博士(工学)



大阪市をモデルケースとして、大規模地震発生時の水の需要・供給バランスとその地域分布特性、および水の需要・供給バランス改善のための方策と効果。上町筋帯地盤、水供給バランス、避難所、震度観、消火用水

鬼頭 宏明 KITO Hiroaki

工学研究科・教授  
複合構造・博士(工学)



社会基盤施設を対象とした鋼とコンクリートから構成される部材ならびに構造物の力学的特性の解明と、その合理的な設計法の開発、既存構造物の補修・補強や延命化へのその活用。耐久性、補修、補強、耐震

木村 義成 KIMURA Yoshinari

文学研究科・准教授  
地理情報システム・准教授・博士(学術)



救急医療におけるアクセシビリティや感染症における伝播要因を、地理情報システム(GIS)を用いて分析しています。GIS、アクセシビリティ、救急医療、災害医療

重松 孝昌 SHIGEMATSU Takaaki

工学研究科・教授  
河海工学・博士(工学)



津波避難シェルターの開発研究や、外水氾濫・内水氾濫の高精度予測手法の開発、地下空間における浸水伝播特性などの複合水災害について取り組んでいます。大阪市湾岸5区と大阪市港湾局との連携研究にも取り組んでいます。津波避難シェルター、複合水災害、避難

高橋 秀也 TAKAHASHI Hideyo

工学研究科・教授  
情報システム工学・博士(工学)



救助・避難時に有効なモバイル情報ディスプレイの研究。ヘッドマウントディスプレイ、網膜投影ディスプレイ

田窪 朋仁 TAKUBO Tomohito

工学研究科・教授  
ロボット工学・博士(工学)



構造物の点検する移動ロボットの開発、および、町中を自律走行し地図生成を行う自律移動ロボットの研究を行っています。自律移動ロボットに搭載されたカメラを使って特定エリアの探索などの課題にも取り組んでいます。自律移動ロボット、地図生成

瀧澤 重志 TAKIZAWA Atsushi

生活科学研究科・教授  
建築・情報学・博士(工学)



防災関連のテーマとして、広域の避難・徒歩帰宅シミュレーションや、離散アルゴリズムによる最速避難計画や避難所割り当てなどの研究を行っています。避難計画、避難シミュレーション、マルチエージェント、数値計画、最速フローモデル

谷口 与史也 TANIGUCHI Yoshiya

工学研究科・教授  
建築構造学・博士(工学)



災害避難施設として利用されることの多い体育館などの大型の建築構造物の力学的特性と終局耐震性能の評価に関する研究を進めています。空間骨組構造、耐震性能、力学特性

角掛 久雄 TSUNOKAKE Hisao

工学研究科・准教授  
コンクリート構造・博士(工学)



生活基盤であるインフラ構造物、特にコンクリート構造物の長寿命化および耐震性向上を目指し、既設コンクリート構造物の耐久性の検証から、補修・補強による健全な構造物を維持するための研究を行っています。耐久性、補修、補強、耐震

中條 壮大 NAKAJO Sota

工学研究科都市学・講師  
海洋工学、水理学・博士(工学)



高潮災害を始めとする気象・海象災害の災害想定における課題抽出、最悪シナリオ分析とその精度解析、減災型社会に求められる情報提供のあり方、気候変動の影響評価。高潮、異常潮、台風、災害想定、リスクコミュニケーション

銅島 美奈子 NABESHIMA Minako

工学研究科・准教授  
地域環境計画・博士(学術)、熱エネルギー設備・博士(工学)



BCPやLCPの観点から、省エネルギー型の給湯設備や空調設備について研究を行います。給湯、空調、省エネルギー、サステナビリティ

根本 達也 NEMOTO Tatsuya

理学研究科・講師  
情報地質学・博士(理学)



3次元地質モデルの構築および可視化手法の開発、地質情報のためのWeb共有システムの開発。3次元地質モデル、可視化、Web-GIS、空間データベース

原口 強 HARAGUCHI Tsuyoshi

理学研究科・准教授  
都市地盤構造学・博士(工学)



地震・津波、斜面崩壊などに伴う災害および古代文明の盛衰と環境変動に関する調査・研究。地震、津波、斜面災害、古代文明、環境変動

升本 眞二 MASUMOTO Shinji

理学研究科・教授  
情報地質学・博士(理学)



都市やその周辺の地下の地質体分布を表す3次元地質モデルの構築理論の開発、及び地理情報システムなどの空間情報科学的な手法を用いた構築システムの実用化の研究を進めています。3次元地質モデル、地理情報システム

水谷 聡 MIZUTANI Satoshi

工学研究科・准教授  
廃棄物管理工学・博士(工学)



災害廃棄物について研究しています。都市の建物ストック量と震度予測値に基づき、がれき発生量の推定・PRTRなどの化学物質管理制度を活用した、災害時の化学物質汚染や有害廃棄物の発生量・発生分布の予測。災害廃棄物、がれき、化学物質管理、PRTR、GIS

三田村 宗樹 MITAMURA Muneki

理学研究科・教授  
都市地質学・博士(理学)



大阪を代表フィールドとして培った成果や研究手法をもとに、都市の立地する平野の地盤と災害の関わりや埋立地や盛土などの人工地盤と地震災害との関係などの研究を進めています。沖積層、地層形成、地盤災害、人工地盤

吉田 大介 YOSHIDA Daisuke

工学研究科・准教授  
空間情報学・博士(創造都市)



高精度な衛星測位技術ならびに地理情報システムを活用する空間情報学を専門分野とし、その応用として、防災・減災や都市のインフラ維持管理に関する教育・研究を行う。全球測位システム(GNSS)、地理情報システム(GIS)、拡張現実(AR)、小型無人航空機(ドローン)

吉中 進 YOSHINAKA Susumu

工学研究科・准教授  
建築構造学・博士(工学)



大スパン構造物の応答制御に関する研究を主にしています。さらに、大規模乗客施設における吊り天井落下対策は喫緊の課題であり、斜行ケーブルを用いた新しい吊り天井工法の開発を行っています。大スパン構造、応答制御、吊り天井

山口 隆司 YAMAGUCHI Takashi

工学研究科・教授  
応用構造工学・博士(工学)



緊急架設橋梁の開発。仮橋、リユース、施工時間短縮

山田 卓 YAMADA Suguru

工学研究科・准教授  
地盤工学・博士(工学)



経済的かつ効果的な地震による地盤の液状化の危険度評価や液状化対策技術の開発を目的とし、実験と地盤調査を中心とした研究を行っています。液状化対策、地盤改良、地盤調査、土質試験

米澤 剛 YONEZAWA Go

工学研究科・准教授  
地域情報学・博士(理学)



ベトナムにおける都市防災のための時空間分析と都市基盤データ構築。ベトナム、GIS、3次元地質モデル、DEM、空間分析

ラガワン ベンカテッシュ RAGHAVAN Venkatesh

工学研究科・教授  
空間情報科学・博士(理学)



GIS及びリモートセンシングを中心としたオープンソース空間情報システムの開発と都市情報への応用について研究を行っています。地理情報システム、リモートセンシング、空間情報解析、衛星画像処理、オープンソースソフトウェア

渡部 嗣道 WATANABE Tsugumichi

生活科学研究科・教授  
建築・博士(工学)



耐久性力学。コンクリート構造

## 特別研究員

佐藤 拓也	YuMake合同会社・Code for Japan / 流体地球物理学
瀬戸 寿一	東京大学 空間情報科学研究センター / 社会地理学・地理情報学
竹中 章勝	奈良女子大学・奈良教育大学 非常勤講師 / 情報教育・地理情報システム・小型無人航空機(ドローン)
中川 康一	NPO法人 地盤・地下水環境NET / 応用地質学・地球物理学

[ユニットII]

災害対応

リーダー 渡辺 一志 WATANABE Hitoshi

都市健康・スポーツ研究センター・教授  
健康・スポーツ科学・博士(医学)



災害に対応する自助・共助のレジリエンス向上。災害時要支援者の避難に必要な健康や体力指標の開発。  
避難、体力、健康、レジリエンス、災害時要支援者

生田 英輔 IKUTA Eisuke

生活科学研究科・准教授  
居住安全工学・博士(学術)



災害時の人的被害発生メカニズムの解明と対策、コミュニティ防災の計画と実践  
避難行動要支援者の支援、防災意識とリスクコミュニケーション。  
人的被害、コミュニティ防災、防災教育、リスクコミュニケーション

今井 大喜 IMAI Daiki

都市健康・スポーツ研究センター 講師  
運動環境生理学・博士(医学)



災害に対応する自助・共助のレジリエンス向上。災害時要支援者の避難に必要な健康や体力指標の開発。  
避難、体力、健康、レジリエンス、災害時要支援者

岡崎 和伸 OKAZAKI Kazunobu

都市健康・スポーツ研究センター・教授  
健康・スポーツ科学・博士(医学)



災害に対応する自助・共助のレジリエンス向上。災害時要支援者の避難に必要な健康や体力指標の開発。  
避難、体力、健康、レジリエンス、災害時要支援者

萩田 亮 OGITA Akira

都市健康・スポーツ研究センター・教授  
生体機能学・博士(理学)



災害に対応する自助・共助のレジリエンス向上。災害時要支援者の避難に必要な健康や体力指標の開発。  
避難、体力、健康、レジリエンス、災害時要支援者

金谷 志子 KANAYA Yukiko

看護学研究科・准教授  
在宅看護学・博士(看護学)



災害時に備え地域ボランティアによる地域のつながりの醸成や地域ボランティアによる見守り活動に関する研究。  
災害時の備え、健康危機管理、地域ボランティア、見守り活動

川合 忠雄 KAWAI Tadao

工学研究科・教授  
診断工学・博士(工学)



機械やインフラ構造物に生じる損傷を画像解析や打撃試験により評価して、損傷の発生やその程度を求める診断手法について研究しています。特に、維持管理業務におけるCIM (Construction Information Modeling) の展開につなげることを目指しています。  
損傷、評価、診断、画像解析、振動解析

川原 恵 KAWAHARA Megumi

看護学研究科・特任講師  
がん、急性看護学・修士(看護学)



災害看護。  
災害、サバイバー、教育、セルフケア

作田 裕美 SAKUDA Hiromi

看護学研究科・教授  
がん、急性看護学・博士(看護学)



災害看護。  
災害、サバイバー、教育、セルフケア

全 泓奎 JEON Hong Gyu

都市研究プラザ・教授  
アジア都市論・博士(工学)



アジア都市における居住福祉にかかわる比較研究を行っている。防災の観点からは、被差別部落の高齢者や障がい者、また外国籍住民など災害弱者のエンパワーメントを伴う防災課題について研究している。  
居住福祉、災害弱者、被差別部落、外国籍住民、エンパワーメント

鈴木雄太 SUZUKI Yuta

都市健康・スポーツ研究センター・講師  
バイオメカニクス・博士(体育科学)



災害に対応する自助・共助のレジリエンス向上。災害時要支援者の避難に必要な健康や体力指標の開発。  
避難、体力、健康、レジリエンス、災害時要支援者

高田 洋吾 TAKADA Yogo

工学研究科・教授  
ロボット工学・博士(工学)



様々な不整領域に進入可能で、人が持ち運べる小型サイズのロボットについて研究しています。プロジェクトでは、被災者自身が自分の力で避難するための支援になる携帯型ロボットについて検討しています。  
移動ロボット、携帯可能サイズ、不整領域

辻岡 哲夫 TSUJIOKA Tetsuo

工学研究科・准教授  
通信工学・博士(工学)



本ユニットでは、災害時の人の位置を推定・トラッキングする技術とそのための位置推定通信ネットワークについて研究しています。低コストで高精度なIPアドレスと高精度な位置推定技術の確立を目指しています。いざいざ災害時に役に立つためには、日常的に利用するシステムでなければならずと考えています。  
通信システム、Webデータベースシステム、センシング

中島 重義 NAKAJIMA Shigeyoshi

工学研究科・准教授  
情報処理工学・博士(工学)



災害時における監視カメラでの人物同定での人物追跡をする研究をしています。また画像処理の力を、災害に備えた建築物のひび割れの検出に応用することも考えております。  
監視カメラ、人物同定、人物追跡、画像処理、建築物のひび割れ

野村 恭代 NOMURA Yasuyo

生活科学研究科・准教授  
社会福祉学・博士(人間科学)



つながりによる地域防災力の強化に関する研究。  
つながり、地域防災力、地域住民

平谷 優子 HIRATANI Yuko

看護学研究科・教授  
小児看護学・家族看護学・博士(保健学)



小児看護・家族看護に関する研究。  
小児、病児、障がい児

宮崎 大介 MIYAZAKI Daisuke

工学研究科・電子情報系専攻・准教授  
情報光学・博士(工学)



光技術を用いた情報の取得、加工、表示に関する研究を行っています。光学計測による構造物の検査や、3次元ディスプレイを用いた都市の情報の効率的な可視化などをしています。  
光計測、形状計測、3次元表示、画像処理

宮野 道雄 MIYANO Michio

生活科学研究科・特任教授  
居住安全工学・地域防災・博士(工学)



地震や風水害などの自然災害や住宅内外で発生する日常生活事故に関する研究を行い、安全で快適な生活環境の策定を目指しています。具体的には、災害時の避難行動や人的被害発生機構に関する研究を進めています。  
人的被害、避難行動、生活復興、日常生活事故

村川 由加理 MURAKAWA Yukari

看護学研究科・講師  
がん、急性看護学・修士(看護学)



災害看護。  
災害、サバイバー、教育、セルフケア

山本 啓雅 YAMAMOTO Hiromasa

医学研究科・病院教授  
救急医学・博士(医学)



GISを用いた災害時の医療システムの検討。IoTを用いた病院災害対策本部での情報収集・解析システムの開発、病院の災害対応標準化に向けた教育コンテンツの開発、市民への災害医療教育。  
災害時の医療、GIS、災害対策本部、市民教育

横山 久代 YOKOYAMA Hisayo

都市健康・スポーツ研究センター・准教授  
代謝内分分泌学・運動療法、博士(医学)



災害に対応する自助・共助のレジリエンス向上。災害時要支援者の避難に必要な健康や体力指標の開発。  
避難、体力、健康、レジリエンス、災害時要支援者

横山 美江 YOKOYAMA Yoshie

看護学研究科・教授  
公衆衛生看護学・博士(医学)



災害時における公衆衛生活動と健康、母子の防災に関する調査・研究。  
母子保健、公衆衛生、保健師

特別研究員

上田 任克 四条薬学園大学 / 障害者や高齢者のための福祉用具・環境整備に関する研究

岡本 昌大 訪問看護ステーション 京さくら / 訪問臨床リハビリテーション

小島 一哉 大阪ガス株式会社エネルギー文化研究所 / 地域社会の防災・減災

小島 久典 大阪府立大学 / リハビリテーション科学 / 作業療法学

志垣 智子 高齢者住宅研究所 / 地域居住、災害備忘

杉山 正晃 大阪府立大学 客員研究員 / 身体活動・近隣環境

畑 直成 畑内科クリニック 院長 / 医学博士

[ユニットIII]

社会実装  
マネジメント

リーダー 福島 祥行 FUKUSHIMA Yoshiyuki

文学研究科・教授  
コミュニケーション論・相互行為分析・博士(文学)



相互行為論の立場から、コミュニケーション、言語教育 / 学習、境界論など、人と人のやりとりや学びのメカニズムを研究しています。CERDでは、演劇活動が防災・減災につながることを実証しようとしています。  
地域防災劇団、相互行為論、社会的レジリエンス、相互行為的能力主義、「弱いロボット」の思想

小長谷 一之 KONAGAYA Kazuyuki

都市経営研究科・都市政策専攻・教授  
まちづくり・地域再生・修士(理学)・修士(文学)



現在の主な研究課題は、まちづくり・地域活性化における経済的諸問題。大阪市の特にベイエリアは、今後何十年というスパンで防災都市をつくることも都市魅力創造のまちづくりをしていく必要があると考えています。  
まちづくり、地域活性化、減災、マーケティング、行動経済学

佐伯 大輔 SAEKI Daisuke

文学研究科・准教授  
学習心理学・博士(文学)



私たちは日常生活において様々なことを経験しますが、私は経験によって行動が変化するという「学習」を研究しています。OERDでは、防災教育の効果評価や、防災知を地域社会に効果的に広める方法について研究しています。  
学習、オペラント条件づけ、選択、防災教育、防災訓練

坂上 茂樹 SAKAGAMI Shigeki

経済学研究科・教授  
産業技術史・博士(経済学)



動力技術史(内燃機関、蒸気機関、蒸気タービン、ガスタービン)、事故の技術史。内燃機関、ディーゼル機関、自動車、蒸気機関、蒸気タービン

添田 晴雄 SOEDA Haruo

文学研究科・教授  
教育学・博士(文学)



学級活動、児童会活動・生徒会活動、学校行事などの特別活動や総合的な学習の時間の観点から防災学習について考えます。  
防災学習、特別活動、学級活動、児童・生徒会活動、学校行事

森 一彦 MORI Kazuhiko

生活科学研究科・教授  
建築計画・福祉環境デザイン、博士(工学)



防災教育を通したコミュニティづくり - コミュニティ・プラットフォームの回復。  
防災文化、防災教育、地域活動、ソーシャルキャピタル

森 久佳 MORI Hisayoshi

文学研究科・准教授  
教育学・博士



専門は教育方法学です。カリキュラムや教師を切り口に、学校を中心とした教育実践を歴史的及び現代的な観点から研究しています。また、地域との連携を視野に入れた学校づくりにも関心があります。  
カリキュラム、教師教育

# CERD 組織体制

所長: 三田村 宗樹

## コミュニティ防災教育

リーダー(担当副所長): 佐伯 大輔  
サブリーダー: 中條 壮大  
辻岡 哲夫

## 都市防災研究

リーダー(担当副所長): 重松 孝昌  
サブリーダー: 吉田 長裕  
今井 大喜  
森 久佳

## 地域貢献

リーダー(担当副所長): 生田 英輔  
サブリーダー: 吉田 大介  
福島 祥行

## 防災ミュージアム

担当: 三田村 宗樹

### [ユニットI] 災害リスク

ユニットリーダー: 吉田 長裕

#### 地域情報リスクマネジメント研究グループ

ユニットサブリーダー: 吉田 大介

地理情報システム関連研究 ラガワン ベンカテッシュ(工)  
吉田 大介(工) 山田 卓(工)  
米澤 剛(工) 三田村 宗樹(理)  
木村 義成(文) 升本 眞二(理)  
瀬戸 寿一(特別研究員) 原口 強(理)  
竹中 章勝(特別研究員) 根本 達也(理)  
佐藤 拓也(特別研究員) 中川 康一(特別研究員)

#### 都市基盤リスクマネジメント研究グループ

ユニットサブリーダー: 吉中 進

構造物関連研究 エネルギー・環境関連研究  
谷口 与史也(工) 貫上 佳則(工)  
鬼頭 宏明(工) 水谷 聡(工)  
山口 隆司(工) 鍋島 美奈子(工)  
角掛 久雄(工) 遠藤 徹(工)  
田窪 朋仁(工)  
吉中 進(工)  
渡部 嗣道(生科)

#### 避難行動マネジメント研究グループ

ユニットサブリーダー: 中條 壮大

高橋 秀也(工) 吉田 長裕(工)  
瀧澤 重志(生科) 重松 孝昌(工)  
中條 壮大(工)

### [ユニットII] 災害対応

ユニットリーダー: 渡辺 一志

#### 災害時の医療推進部門

ユニットサブリーダー: 山本 啓雅  
山本 啓雅(医)

#### 災害時急性期看護部門

ユニットサブリーダー: 村川 由加理  
作田 裕美(看護)  
村川 由加理(看護)  
金谷 志子(看護)  
川原 恵(看護)

#### 災害と福祉的支援部門

ユニットサブリーダー: 野村 恭代  
野村 恭代(生科)  
全 泓奎(都市プラザ)

#### 災害工学部門

ユニットサブリーダー: 辻岡 哲夫  
中島 重義(工)  
高田 洋吾(工)  
宮崎 大介(工)  
辻岡 哲夫(工)  
川合 忠雄(工)  
畑 直成(特別研究員)

#### 体力・避難支援部門

ユニットサブリーダー: 今井 大喜

渡辺 一志(健スポ)  
荻田 亮(健スポ)  
岡崎 和伸(健スポ)  
横山久代(健スポ)  
今井 大喜(健スポ)  
鈴木 雄太(健スポ)  
宮野 道雄(生科)  
生田 英輔(生科)  
横山 美江(看護)  
平谷 優子(看護)  
小島 久典(特別研究員)  
志垣 智子(特別研究員)  
上田 任克(特別研究員)  
岡本 昌大(特別研究員)  
小島 一哉(特別研究員)  
杉山 正晃(特別研究員)

### [ユニットIII] 社会実装マネジメント

ユニットリーダー: 福島 祥行

ユニットサブリーダー: 森 久佳

福島 祥行(文)  
佐伯 大輔(文)  
森 久佳(文)  
小長谷 一之(都経)  
坂上 茂樹(経済)  
森 一彦(生科)  
添田 晴雄(文)

### [ユニットI]

## 災害リスク

**[テーマ]** 自然現象の理解促進と防災・減災への活用、防災に関する技術の開発と活用促進

**[キーワード]** リスク、空間把握、技術革新

**[プロジェクト]** 沿岸水災害に関する研究、建造物・建築物等の安全性確保に関する研究、地震動及び液状化等に関する研究、効率的避難に資するための空間把握に関する研究、避難支援技術に関する研究

### [ユニットII]

## 災害対応

**[テーマ]** 日常時、避難時、災害後の時系列に応じた自助・共助を主体とした防災力の向上

**[キーワード]** 安全・安心、健康・体力、日常・生活、災害時要支援者

**[プロジェクト]** 災害時避難行動要支援者に関する知識と支援技術、避難行動要支援者の避難とその体力、災害時の医療と避難所の健康問題、災害時の非常食、福祉的配慮のある避難所、ドローンを用いた災害対応、災害時のロボット活用

### [ユニットIII]

## 社会実装 マネジメント

**[テーマ]** 防災教育プログラムの社会実装、地域防災力(防災に役立つ知識・技能)の向上

**[キーワード]** リアリティ、持続性、協働

**[プロジェクト]** 公立大学防災センター連携によるコミュニティ防災教育ネットワークの構築、地域住民のつながり強化による適切な災害時の対応、地域防災劇団「スミヨシ・アクト・カンパニー」の運営

お問い合わせ先 都市防災教育研究センター事務局 tel.06-6605-2902

http://www.cerd.osaka-cu.ac.jp

市大 CERD

検索

office@cerd.osaka-cu.ac.jp

取材に関するお問い合わせ・申込先 大阪市立大学 広報室 tel.06-6605-3411